コロナの爪痕・・・

真冬の寒さが続いています。温かい布団から出て、朝の準備をすることだけでもなかなか大変ですが、朝食をしっかり食べると、体温が上昇し、身体にスイッチが入ります。温かいスープや味噌汁、ホットミルクなど「フーフー」しながら食べたり、飲んだりすると、心も身体も暖まり、１日頑張るエネルギーが充電されます。「食べることは、生きること」朝食をパワーアップして、寒い冬を元気に乗りきりましょう。

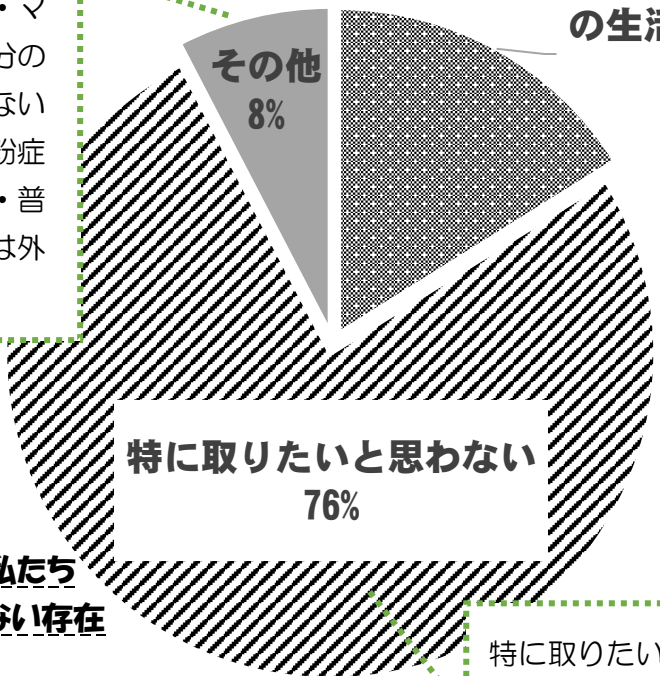
マスク？ 黙食？ どう思う？

コロナ禍における意識調査

R5.1.24.　高篠中学校全校生徒

★マスクについてどう思う？（高篠中全体）





＜その他の自由記述＞
一生マスクしていたい・マスク詐欺がばれる・自分の容姿があまり好きじゃないから外したくない・花粉症や風邪の時だけしたい・普段は付け、運動のときは外したい・時期による。

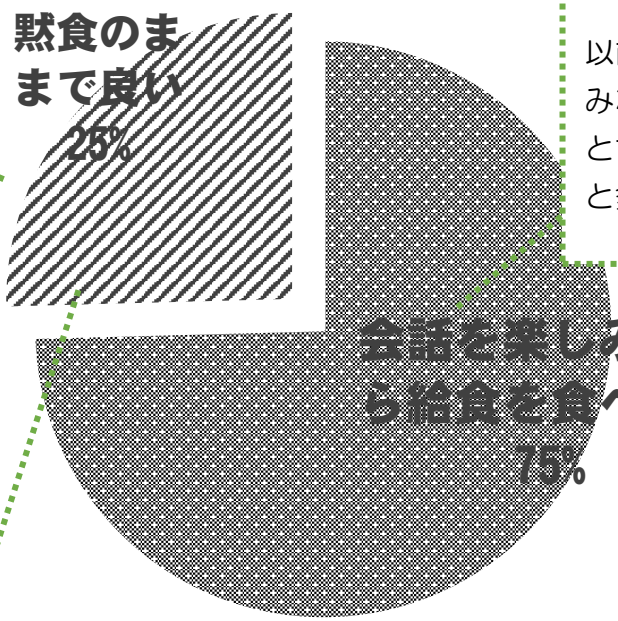
「マスクが早くとりたい」と思っている人は全体の１６％と少数でした。
３ 年間にも及ぶマスク生活で、マスクをしていることが当たり前の日常になってしまったようです。

特に取りたいと思わない人が７６％と大多数でした。顔の半分以上をマスクで覆い、「マスクなしの顔」をほとんど見なくなった関係性の中、マスクに抵抗を感じなくなっている現状があります。

飛沫感染対策として、私たちの生活になくてはならない存在となったマスク。
国は今後、マスクの着脱について「個人の判断に任せる」という見解を示しています。学校生活の中でもマスクをつけるのか？はずすのか？今までとは少し違った形になってくることが予想されます。
顔や表情を隠せるアイテムとしてマスクへの依存が強くなり、マスクが取れなくなってしまう人がいるのではないか？が心配です。

★給食の黙食について
どう思う？（高篠中全体）

一方で全体の２５％の人は黙食のままで良いと考えています。



以前のように会話を楽しみながら給食を食べたいと言う人が全体の７５％と多数でした。

黙食のままで良いと思う理由として、「飛沫の飛び方を知ってしまったので会話をしながら食べることに抵抗がある」など感染不安を感じる人。「静かに食べた方が落ち着く」「喋っていると時間が足りない」など黙食の方が合理的だと思う人がいるようです。



「会食」が「感染を広げる」と捉えられているコロナ禍では、人と話しながら食事を楽しむという文化が失われつつあります。学校給食の形も大きく変わりました。次年度また、どんな風に給食が変わるのか？検討していきたいと思います。

コロナに翻弄された日々・・・

コロナ禍でつらかったあれこれ・・・



1位 行事やイベントの短縮や中止！

＊小学校の修学旅行に行けなくなった、お台場の校外学習に行きたかった、運動会や体育祭が短くなった・・・など大きな行事の短縮や中止が悲しかったという意見が多かったです。

2位 部活動が思うようにできない！

＊部活動の活動日数が減ったり、大会がなくなったりしたこと・・・。練習した成果を発揮できる場が制限されてしまうことは辛かったですね。

3位 感染したり濃厚接触者になった！

＊コロナが自分や自分の家族の身に降りかかり、行動が大きく制限されたことや体調不良で辛かったことが印象に残っている人も多かったです。